

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度の実績評価)

記入年月日  
令和2年4月30日

Table with columns for project name, category, fiscal year, and budget details. Includes '健康診査・がん検診事業' and '0102 健康づくりの推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about cancer screening and health promotion activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for various screening metrics.

Table with 5 columns: (3) 投入量 (事業費) の推移, 30年度 (実績), 01年度 (実績), 02年度 (計画), 期間限定総投入量. Includes a breakdown of expenses by source.

Table with 4 columns: 01年度事業費 実績 (千円), 02年度事業費 予算 (千円), and summary rows for '11 需用費', '12 役務費', '13 委託料', and '合計'.

事務事業名	健康診査・がん検診事業	事務事業No.	10202000334	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
がんを早期に見つけ治療することにより、がんによる死亡者の減少および医療費を削減する。乳・子宮がん検診においては、がん発症の多い年齢の女性に対して無料クーポン券を発行し、受診につなげる「女性特有のがん検診推進事業」が平成21年度に開始。H28より「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」に名称変更。平成30年度は「がん検診受診率向上事業」として、50代への胃がん検診無料クーポンや、30代へのレディース検診受診勧奨を行い、受診へのきっかけづくりに取り組んだ。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
該当年齢以外の方から受診の要望がある。 医療機関で受診したいという要望がある。 休日の健診や託児に関する要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画で掲げる「健康づくりの推進」に結びつく事業であり、疾病の早期発見の為、受診しやすい体制整備につとめている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 健康増進法に基づく事業であり行政介入は妥当である。疾病の早期発見・早期治療により医療費削減を図る。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 受診者数やクーポン券の利用率が減少している。受診率向上として、PR活動（HP、広報活用、健康推進員の活用）、検診日程の検討や医療機関受診の拡充を行い、受診しやすい環境づくりを行う。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 疾病の発見が遅れることで医療費が高額となり、市民の医療費負担の増加が考えられる。また、結核の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性もある。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 疾病の早期発見・早期治療が遅れることは、市民の生活の質を低下させることとなる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 業務時間については、受診票発送業務や健診受付業務等の業務委託が可能である。しかし、事業費については、健診委託料と役務費のみである。国保と連携を図り郵便料も市内特別割引を適用したりと削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 健康カレンダー、広報、HP、他の事業を通じて周知。申し込みも随時受付。対象者には個別通知をしている。受診者の利便性を考慮し、どの地区でも受診可能としたり医療機関健診を実施するなど機会を確保し公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	肺・胃・大腸・前立腺がん検診において受診者数が減少した。乳・子宮頸がん検診では、受診者が増加した。今後は、対象年齢に宛てたクーポンを受診のきっかけとし、継続受診につなげるよう取り組んでいく。大腸がん検診では、平成30年度クーポン券を利用した新規受診者600人のうち、令和元年度継続受診者は327名で半数以上が継続受診を行っていた。																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
・ミニドック・住民健診について、次年度は40歳に全がん検診無料クーポン、50歳に胃がん検診クーポンを実施する。また、61歳に受診勧奨を実施する。社会保険で40歳～74歳の者で過去にいつれかの健診を受診した者及び国民健康保険で40～60歳の者は、大腸がんキットを同封し、検診受診のきっかけづくりとしていく。 ・レディース検診では、Web予約及び託児可能な日程を引き続き設け、若年層の継続受診を促す。 ・骨粗しょう症検診は、医療機関検診を継続して行い、要精密検査者の事後フォローをさくらがわ医療センターとの連携により充実を図る。 ・口腔がん検診では、受診者枠拡大を目指してより多くの対象者が受診できるよう努めていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>